

大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：石塚委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 防災部会（第5回）				
(2) 開催日時	平成28年9月21日（水）10：00～12：00				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター5階 多目的室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員（部会長：栗田 修平）				＜敬称略＞
	志村 陽子	竹内 奈津子	竹内 千代江	加藤 治	石塚 由江
	オブザーバー：入舩 寛樹（大森消防署）、都甲 修二（田園調布消防署）、丸山 裕士（蒲田警察署）、内藤 禎一（大森東福祉園）				
	関係者：土井 翼（障がい者総合サポートセンター地域交流支援部門主任）				
	区職員：斉藤 緑美（障がい者総合サポートセンター）、吉田 実（障害福祉課）				
事務局：井村 陽介、中條 美由紀、岩下 祐輔（障害福祉課）					

1 確認・連絡事項

(1) 出欠者の確認

(2) 配付資料の確認

(3) 書記の確認

(4) 第1回全体討議会（8/19）の実施報告

○資料には掲載されていないが、福祉避難所が開設された時に、希望者全てが入れるわけでないので、どうやって分けていくのかという討議があった。

(5) 第2回運営会議の開催について

日 時：平成28年10月6日（木）13時30分～15時30分

場 所：さぼーとぴあ3階 集会室1 出席者：栗田部会長、志村委員、森山委員

2 議 題

(1) 中間報告に向けて

○中間報告では、パワーポイント資料（6枚のスライド）を用いて、10分以内で栗田部会長が発表。現段階の資料をもとに、発表内容の確認をしたい。

➤ 「1 ヘルプマークの普及・啓発」について

・これまで取り組んできたもの（ヘルプカード、のぼり旗、ステッカーの作成）を紹介できないか。

➤ 「2 総合防災訓練への参加・協力 地域関係機関との連携の検討」について

・訓練に参加するのは何のためなのか目的を記載してはどうか。

・2か所の総合防災訓練の写真は、1枚のスライドにまとめたほうがよい。

・「地域関係機関」を具体的に表記できないか。部会でもたくさんのオブザーバーの方にご協力いただいているので、知っていただきたい。

➤ 「4 これからの取り組み」について

・今後、内閣府のガイドライン(※)でもうたわれているように、福祉避難所以外にも、小・中学校などの指定避難所の中に福祉避難スペース（室）を設けることを推進していく必要があると思う。これからの取り組みに反映できないか。【※福祉避難所の確保・運営ガイドライン 平成28年4月 内閣府（防災担当）】

・福祉避難スペース（室）のことは、大事なことと認識しており、以前区にも伝えたことがある。「福祉避難所についての情報、知識の整理」の文中でカバーできると思う。

(2) 防災訓練への参加・協力について

○自立支援協議会としてのブースを設営し、ヘルプカードの普及啓発活動を行う。手話通訳もお願いをしている。

■第1弾 9月25日(日)大森東地区総合防災訓練(森ヶ崎交通公園等)

集合時間：9時00分 集合場所：森ヶ崎交通公園(大森東特別出張所の前)

参加予定者：栗田部会長、志村委員、石塚委員、障害福祉課事務局

■第2弾 10月2日(日)六郷地区総合防災訓練(西六郷小学校等)

集合時間：10時00分 集合場所：西六郷小学校

参加予定者：栗田部会長、竹内(千)委員、石塚委員、障害福祉課事務局

<防災訓練への参加・協力に対する意見>

- ・手話通訳者には、訓練開始から終了まで居ていただきたい。
- ・実際に災害が発生したときに、手話通訳者は自分の周りにいないと思う。周囲の方に助けていただく必要がある。そういうことも考えて訓練に取り組む必要があるのだと思っている。自助としての備えが一番大事。会の仲間にも伝えていきたい。
- ・以前、斉藤係長が防災訓練の時に、情報保障として、小さいホワイトボードを首から下げて対応して下さったことを思い出した。
- ・今年も各施設の園祭で、大規模災害時に施設が福祉避難所となる旨を周知していただきたい。うめのき園では、8月の園祭時に消防署の協力を得て、空きスペースで消火訓練を実施した。「この施設は消防署との連携がとれている」というPRにもなったと思う。

3 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 所属団体や個人での取り組みについて

○大田区聴覚障害者協会 竹内 千代江委員から

- ・10月22日、所属の会に防災危機管理課職員の方をお招きし、自助のことについてお話をいただく予定。自分自身の被災経験(1986年三原山の噴火による大島からの全島避難)からも、自助の必要性を痛感。情報の伝え方についても勉強していきたい。
- ・会員個人用災害マニュアルを作成。今後、団体用のマニュアル作成も検討。合わせて、ヘルプカードの啓発方法も相談していきたい。(参考資料の回覧：コミュニケーションボード)

(2) その他の情報提供

- *川崎市で警察が協賛団体協力のもと、地域に配布した詐欺防止の啓発はがきを紹介。くじ付き暑中見舞い用はがき「かもめーる」を使用したもので、8月に届いた。
- *おおたTSネット(地域でトラブルに巻き込まれた障がいのある方を支援するため、福祉専門職・弁護士等が集まって立ち上げた「東京TSネットワーク」から派生した地域のTS)についての紹介。毎月第3木曜日18:30~さぽーとぴあ3階集会室にて開催。どなたでも出席可。
- *東京都障害者社会参加推進センター主催 第1回福祉講座(9/5日)「障害者と災害震災支援活動から見えてきた課題と今後求められるもの」の紹介
- * (意見として) 回覧して下さったコミュニケーションボードに点字も付いているとよいと感じた。青山一丁目駅での盲導犬を連れた視覚障害者の転落事故以来、多くの方に助けてもらっている。「発信すること」「知ってもらおうこと」が大事だと思う。

※ 次回日程

日時：平成28年10月19日(水) 10時00分~12時00分

会場：さぽーとぴあ5階 多目的室